SEA-DOO DOUBLE IMPRESSION
RXP-X 260 RS & GTR 215

シードゥ2015ニューモデルが沖縄の海に登場だ。今回編集部がピックアップしてご紹介するのは『RXP-X 260 RS』と『GTR215』の2艇だ。どちらもイエローを基調とした一目でシードゥと分かる外観で、『外車』に乗っている上質な気分さえも体感させてくれるモデルである。まずは『RXP-X 260 RS』の紹介だが、このモデルは何と言っても毎年アメリカで開催されるIJSBAワールドファイナルを4連覇している世界的にも圧倒的な速さを誇るモデルだ。その圧倒的な『速さ』を支えるのは、260馬力のエンジンだけではない。このモデル専用のT3ハルは高速時と低速時においてハルと水面が接するポイントが変わり、それによりすぐれた走行安定性能を発揮している。これはレースにおいても非常に重要な要素で、単純に早いマシンというのはエンジンの馬力と思われがちだが、実際のコースにはコーナーブイがいくつもあり、コーナーリングの安定性、突入速度、立ち上がり速

RXP-X 260 RS

メーカー希望小売価格 ¥1,780,000 (税別)

- ●全長×全幅 3320×1230mm　●乾燥重量 379kg
- ●燃料タンク容量 60L ●総排気量 1494cc ●定員 2名
- ●最大出力 260hp ●燃料 無鉛プレミアムガソリン

取材協力:BRPジャパン(株) 神奈川県川崎市川崎区東田町8 TEL : 044-200-1431 URL : www.brp-jp.com
オートヒラカワ 沖縄県うるま市栄野比770番地 TEL 098-972-6131 URL http://www.auto-hirakawa.net/

新たなカラーリングを採用し、外見は非常にお洒落な仕上がりだ。広くて視認性も抜群のミラーと最大31種類の情報が表示されるデジタルブースト計にも注目だ。

ハンドル幅やグリップ角度も調整可能で、自分にあったスタイルで走りを楽しむ事が出来る。また、ストレージも深く、シート形状も良くしっかりと体を預けられる。

260馬力エンジンから繰り出される馬力ある走りに加え、上下3段階に調節可能な新型スポンソンや、固定式トリムタブが抜群の走行性能を生み出している。

度と要素を上げたらキリが無いくらいだ。そのためコーナーでこれらの要素を高いレベルで満たすことはユーザーの『走り』に対する期待に大きく答えることになるのである。T3ハルでは高速走行時にはハルが水面と接する面積を減らし抵抗を減らす事で、爽快な加速感を楽しめる。また、低速走行時にはハルと水面が接する面積を増やすことで、逆にマシンを安定させ低速時に起こる嫌な揺れを解消してくれるのである。コーナーリングにおいてはラウンド形状のソフト・チャインが正確かつスピード感溢れるコーナーリングを実現し、上下3段階に調節可能な新型スポンソンが抜群のグリップ力を発揮してくれる。その他にも標準装備の固定式トリムタブでノーズアップを防ぐ事も可能となっており、レースだけでなくツーリングにおいてもその高い『乗り味』を自分や仲間たちと、とことん共有することの出来るイマ注目の人気モデルだ。

そして次にご紹介するのが『GTR215』だ。このモデルは215馬力とは思えない程の力強い走りと、身軽なコーナーリングが特徴的なモデルで、エンジンは215馬力とこちらも爽快な加速感が十分に楽しめる。そして、爽快感を感じさせてくれるのは馬力の他にも大きな要因がある。それは鋭い加速感、シャープなハンドリング性能がユーザーから高い評価を得ている小型・軽量GTIハルを採用しているという点だ。このハルと215馬力のエンジンが組み合わさることで、ハンドリングのレスポンスは非常に高く、身軽さとパワフルさの両面の良さを持ち、走りの楽しさを存分に体感することが出来るのである。また、身軽とは言うもののコーナーリング時や波を捌く時にはしっかりと水面にグリップしており、レースやツーリングでも心強いパートナーとして活躍してくれることだろう。このモデルにはツーリング時に非常に嬉しい機能が多数散りばめられており、最大24種類の情報を確

GTR 215

メーカー希望小売価格 ¥1,490,000 (税別)

●全長×全幅 3370×1230mm　●乾燥重量 363kg
●燃料タンク容量 60L ●総排気量 1494cc ●定員 3名
●最大出力 215hp ●燃料 無鉛プレミアムガソリン

小型・軽量GTIハルを採用し、215馬力エンジンを搭載したことで高い加速感と切れ味あるコーナーリングを楽しめる。フロントストレージは収容力が非常に高い。

メーターパネルは最大で24種類の情報を表示。ハンドル左側にはモード切り替えボタンがある。フットスペースも広く、高速走行時にもしっかりと踏ん張れる。

こちらもスポンソンを装備。また、ユーザーから高評価のiBRも搭載されており、減速や後進もスムーズに行うことが出来る。後方部もワイドでアクセスもスムーズ。

認出来るメーターパネルではマシンのその時々のコンディションをしっかりと確認する事が出来る。そして両サイドのミラーは後方の視界がワイドかつクリアに広がっており、仲間のライダーの位置や競い合うライダーとの位置関係も非常に掴み易い。ハンドルの左側にはスポーツモードとエコモードを素早く切り替えるボタンが付いており、ストレスの無い海況に応じた走りを楽しむことも可能だ。また、長いツーリングの際には何かと荷物が多くなる時が多いのだが、そんな心配もフロントストレージを中心に合計116.6Lの収容力を誇るこのモデルなら心配不要だ。このモデルは本当にストレスを感じることの少ないモデルで、軽快な走行性能と高い利便性で多くのユーザーを高いレベルで満たしてくれることになるだろう。今シーズン登場するシードゥニューモデルの2艇に注目せずにはいられなくなるインプレッションであった。